南一弘の

街を行く

第42回 岡山 Okayama

恩人と桃太郎

この連載で岡山が登場しこなかったことに驚いています。驚いてしまうほどに小生にとって馴染み深い街です。なぜなら、かつて小生が外資ファンドで多くの不良債権を扱っていた頃、倉敷市の水島にある物流センターの処理案件が生涯の思い出に残る難案件であったからです。水島入りの前には岡山市内で作戦本部をたて、交渉に向けた色んな想定問答を構築したものです。その際にお世話になった不動産業者が写真の翁です。御年92歳、今も健在で車の運転や仲介手数料交渉までこなすのですから脱帽です。翁にとって小生は「ひよっこ」みたいなもですが、負けてはいられません。「頼れるひよっこ」を目指して頑張ります。小生にとって翁は、不動産業界の“人間国宝”のような人です。

人間国宝に会った後は駅前の散策。旧林原の駐車場が将来どの様になるのかは、何時もこの街を訪れる度に気になっていました。何ができるにしても、この街の顔になることは間違いないからです。偉そうなことは言えませんが、もしナショナルブランドのショッピングモールになってしまうのならば残念でなりません。悪いとは言いませんが、この街らしさは確実に消えてしまうからです。かといって地元の民間や地方政治の力では到底再生は無理。国を頼り何らかの特区の指定受けるほかないでしょう。とは言え2020年の東京オリンピックに向けて展開される特区構想は地方の期待に応えられるようには思えませんが……。

岡山と言えばもうひとつ、有名なのが「桃太郎」でしょう。地方に行くと伝承されたお伽噺に出くわします。面白いのは必ずと言って発祥の地があって、そこには名物があります。「きび団子」も誰もが食べたことのあるお菓子でしょう。桃太郎の鬼退治の物語は子供の頃、枕元で母親が読んでくれたことを懐かしく思い出します。育ててくれた恩を、社会に役立てることで返す。正しく日本の道徳観ですよね。この街も日本人の心の故郷の一つには間違い有りません。

小生が尊敬してやまない翁と、岡山の名物桃太郎

南 一弘

1982年大学卒業後、三井不動産販売に入社。ローンスター・ジャパン・アクイジションズを経て、2001年エートス・ジャパン・エルエルシーを設立。同代表に就任。2005年4月MID都市開発（旧松下興産）の代表取締役に就任。2006年株式会社ジャパン・アセット・アドバイザーズを設立。同代表取締役に就任。

BLOG「南一弘の負けない不動産投資」
http://blog.livedoor.jp/minami_kazuhiro